

「せんなん里海公園」 大阪府泉南郡

せんなん里海公園
〒599-0301
大阪府泉南郡岬町淡輪地先

ハマ浜通信特派員 加藤博です。
柔らかな日差しに誘われて、ブログで紹介の「せんなん里海公園」に行ってきました。「海水浴の出来る浜辺」に「ヨットハーバー」「子供用の遊戯場」などを備えた大きな公園でした。二
月で、しかもウイークデイというこ
ともあり今日は人影もまばらでした
が、夏は海水浴の家族連れなどでい
っぱいになるようです。「駐車場」「単
車置き場」もきっちり確保されて、こ
れなら気軽に遊びに行けますね。「パ
ーベキュー」が出来る一角もあると
のこと。パンフレットを見ると、10
カ所ある「御手洗い」のうち、8カ所
に「車椅子用の御手洗い」がありまし
た。「潮騒ビバレー」という観覧席を
設けた立派な運動施設があります。



「せんなん里海公園」

管理事務所の方に伺うと、日本唯一
の「常設ビーチバレーコート」とのこ
と。常設のビーチバレーコートは、世
界でも数えるほどしかないそうです。
「女子ビーチバレー世界選手権大会」
もここで行われたそうです。いつもは、
山や溪谷を越えて日本海へ出るので
すが、きょうは、高速道で街を抜けて
水際、海辺にきました。やっぱり白い
砂浜はいいですね。07年2月6日撮影

カモメのストライキ?

おはようございます! 毎日良い
天気! 今朝も象の鼻地区は曇りを
上げて工事中。警戒船をしりぬに、カ
モメ達は、象の鼻の上でひなたぼっ
こ。ここは私たちの物と言わんばか
りに三列程に整列して。ここから見
ると白い帯に見えるから数百いるね
キット。まるで座り込みのストライ
キのようですよ。いい光景なんだよ
なあ、カモメ達のひなたぼっこ。

ハマ浜通信特派員
ハマのタマちゃん記



撮影:07年1月13日
「象の鼻」定点観測より

「湯の児の浜」 熊本県水俣市

私の住んでいる水俣には、自然の
砂浜はありません。この場所は、湯の
児の浜です。人工の砂浜ですが、海流
の関係で砂が流れてしまっています。
手前の防波堤は最近造られた物のよ
うです。最近、何の為の物かよくわか
らない施設が多い街になってしまし
た。

水俣 守山達也記



広島県福山市 田尻の海岸

わぎもこがみし
吾妹子之見師

ともものうらのむろのきは
輓浦之天木香樹者

とこよのあれどみしひとぞなき
常代有跡見之人曹奈吉

この歌は、大宰府に左遷された大
伴旅人(おとおものたびと)が天平2
年に任期をおえて京に戻り途中に輓
浦によったときの歌です。この物



横浜飛天双〇能

本年九月八日(土)、第11回横浜飛天
双〇能を横浜能楽堂にて開催いたしま
す。演目は「新作能 横浜三時空」。横浜
を舞台に、現代と古代、そして神話の世
界と、二つの異なった時空を行き来す
る壮大なストーリーです。この演目の
基となったのは、平成十五年に行われ
た「横浜の能のネタ募集」での最優秀作
品。それを、免疫学者であり能楽にも造
詣が深い多田富雄先生に、能楽の詞章
として仕上げて頂きました。簡単なあ
らすじをご紹介しますと...

濱に砂浜があった頃の光景を思い起
こすくだりもあります。また、神奈川
区の洲崎大神、天太玉命が、本牧十二
天に奉られた神々、そして異国の神々
も分け隔て無く、共に繁栄とこしえ
の平和を願うあたり、開港の時より、
様々な人・もの・文化が往来し、共存し
てきた横浜らしい能となりました。九
月八日には横浜能楽堂で、横浜の横浜
たる能を楽しんでいただければとお
願い方々、ご案内申し上げた次第です。
詳しくは、
横浜飛天双〇能横浜三時空
製作過程公開特設サイト
<http://sanjiku.yokohama-noh.com/>
をご覧ください。
横浜を愛する皆様のご参加をお待ち
申し上げます。

多田 富雄(ただとみお)
東京大学医学部名誉教授。東京理科大
学生命学研究所所長などを歴任。一九
七一年に抑制T細胞を発見。一九八四
年、文化功労者となる。新作能「無明の
井(むみょうのい)」「望恨歌(ぼうこん
か)」は、好評を博し、日本内外を問わ
ず公演を重ねている。二〇〇三年には、
二十世紀の天才科学者アインシュ
タインの新作能「石仙人(いっせき
せんじん)」を横浜飛天双〇能で初演、
既に数回の公演依頼がある。著書に「免
疫の意味論(大佛次郎賞)」「生命の意
味論(独酌余滴)」「日本エッセイスト・
クラブ賞」(私のガラクタ美術館)など。

「間人(たいざ)の浦」

「間人」と書いて「たいざ」と読みます。
京都府北部にある静かな浜辺です。
聖徳大使の母君「間人(はしうど)
皇后」にゆかりのある漁村です。むか
し、大和の都で権力闘争が激しくな
ったころ、間人(はしうど)皇后は幼い
聖徳大使たちが、テロに巻き込まれ
ることを避けるため、日本海に面す
この浜辺の集落に身を寄せられた
そうです。やがて都での争い事も収
まり、皇后様が都にお帰りになる時、
この海辺で暮らす人々の優しさと思

いやりの深さに打たれ、感謝の印と
して、「間人村」と御自分の名を残さ
れたそうです。人々は皇后様の御名
前を「そのまま呼び捨てにすること
は恐れ多い」とこの地を無事に「御
退座」されたことを「誉れ」とし「た
いざ」と読むようになったというこ
とです。今は、この海で採れる「間人
ガニ」が美味で特に有名です。
ハマ浜通信特派員 加藤博 記
間人浦 06年4月撮影
京都府京 丹後市丹後町間人



編集後記

ハマ浜のこれからの活動情報
まだ、決定でないものも含まれますが、
今後の活動情報を!

- ・横浜市民防災センター見学
- ・横浜火力発電所見学
- ・「浜の記憶(メモリー)」第三回写真展
- ・5/20 横浜シンボルタワーバザー参加予定
- ・横浜飛天双〇能 横浜三時空
- ・ハマ浜、協賛します!
- ・ハマ浜HPに特設ページ開設予定
- ・ステッカー、Tシャツ作成
- ・などなど、となっています!
- ・各イベントなどは、詳細が決まり次第、
順次、ブログなどお知らせしてい
きますので、お楽しみに!

実行委員会 石橋伸一

ハマ浜新聞創刊について

先駆けて「ハマ浜通信」がWeb上に
オンラインしたのが、二〇〇六年二月。
その記事を紹介するという試みでスタ
ートいたしました。次号は取材なども
してみたい!等と思うのです。
ハマ浜新聞 編集長 伊藤久美子



もとになるもの、もと。
「素因・素数・元素・素粒子」
生まれたままの手を加えていない状態
からすべてが始まっている。石橋伸一



遊の字らしいです。白川静の本で見つ
けました。字?絵? 古代とかそういう時
代の中国の文字らしいですが。
日々いろいろあって、楽しいことばっ
かりではないんですけども...そういうの
も含めて楽しんでしまえればよいな
あ...「遊び」だと思えば良いんだよなあ...
などと考える... 佐藤恵美子